

平成 24 年度 新入社員の意識と就職活動状況アンケート調査 報告書

対象：平成 24 年度新入社員研修会（百五経済研究所主催）の参加者
（主に三重県・愛知県に本社を置く企業の新入社員）

（調査結果のまとめ）

就職活動状況・就職観に関する調査

調査を実施した背景

弊社では、企業の採用活動や人材育成に活用いただくため、また、学生の就職活動に活用いただくため、毎年継続して開催している新入社員研修会参加者を対象に、**学生の就職活動状況**や**若者の就職観**などについて調査を行い、これらの年ごとの変化を把握している。

主な調査結果

<就職活動状況>

・1人あたりの“**平均訪問企業数**”は、**大学卒**では**17.4社**と**前年とほとんど変化がなく**、引き続き、**平成 20 年度調査時**（8.2社）の**2倍超**となった。

<就職先を選んだ理由>

・就職先を選んだ理由は、例年と同様、**「仕事内容（53.6%）」**、**「自宅通勤できる（39.9%）」**の回答割合が高い。5位の**「経営者の理念（想い）（17.1%）」**は、**4年連続で上昇**している。

<就職活動を振り返って>

・就職活動に**「満足している」**の回答割合は**54.7%**、「満足していない（18.7%）」は**4.0%低下**。

<入社後について思うこと>

・入社した企業に期待することは、「コミュニケーションのよい職場（59.7%）」、「温かい雰囲気
の職場づくり（52.2%）」、「やりがいのある仕事（48.4%）」の回答割合が高い。**女性の方が**、**「コミュニケーションのよい職場（67.5%）」**「**温かい雰囲気づくり（61.5%）」**の割合が高い。
・就職して不安なことは、「**業務の知識や技術の修得（67.4%）」**、「**上司や同僚との人間関係（62.0%）」**の回答割合が高い。「規則的な生活」の回答割合は近年、低下傾向にある。

<入社後のスタイル>

・今の企業で**「定年まで働きたい（30.8%）」がトップ**。**4年連続でトップ**となった。前年に比べて**「将来、独立を考えている（9.0%）」**が**3.7ポイント上昇**した。
・仕事とプライベートのバランスは、「両方を適度にこなす（72.2%）」が多数派。**「とにかく仕事優先で頑張る（22.1%）」**の回答割合は**4年連続上昇**している。

<人生で大切だと思うもの>

・人生で大切なものは、「**家庭（69.7%）」**が最も高い。「**お金（41.8%）」**は**2年連続上昇**した。

“ゆとり世代”に関する意識調査（今年度の調査で新しく設定した設問）

調査を実施した背景

世間では、昭和 62 年 4 月以降に生まれた世代を指して“**ゆとり世代**”と呼び、ニュースなどで話題になることがある。本年度は大学院卒も含め、新入社員の大半が該当の年齢になるため、**“ゆとり世代”と呼ばれることへの意識**や、**自己のタイプについての認識**を把握した。

主な調査結果

・“**ゆとり世代**”と呼ばれることについては、**約 6 割（61.6%）**が**「気にしない」とし**、「気にする」は約 2 割（21.7%）であった。理由は、「気にする」「気にしない」の双方で、**「（個人ではなく）世代で同一視されること」**についての意見が目立った。
・自己のタイプは、「どちらかという」とを含め、**「慎重である（70.9%）」**「**皆と協力して進める方が好き（68.5%）」**「**自由度が高い方が好き（62.6%）」**と認識する回答が目立った。

【お問い合わせ先】

株式会社 百五経済研究所
TEL 059-228-9105

担当：川北、森里、松田、笠井
FAX 059-228-9380

アンケート調査の概要

1. 調査対象

弊社主催の新入社員研修会に参加した平成 24 年度の新入社員
155 社（主に三重県・愛知県に本社を置く企業）の新入社員
参加者数 480 人

2. 調査の期間

平成 24 年 4 月 3 日～4 月 6 日

3. 調査方法

「新入社員研修会」会場で調査票を配布・回収（無記名）
476 人分の回答を回収（回収率 99.2%）

4. 主な調査項目

就職活動状況・就職観に関する調査

1. 就職活動状況	3
1 - 1. 訪問企業数と内定した企業数	3
2. 企業を選んだ基準	6
2 - 1. 就職先に決定した理由	6
3. 就職活動を振り返って	9
3 - 1. 満足しているかどうか	9
3 - 2. 満足・不満足の原因	10
4. 入社後について思うこと	12
4 - 1. 企業に期待すること	12
4 - 2. 就職して不安なこと	14
5. 入社後のスタイル	15
5 - 1. 今の企業でいつまで働きたいか	15
5 - 2. 仕事とプライベートのバランス	17
6. 人生で大切だと思うもの	19
“ゆとり世代”に関する意識調査	
7. 世間が“ゆとり世代”と呼ぶことについての意識	21
8. 自分で考える“自己のタイプ”	23

本書での表記について

- ・「24 年度」は「平成 24 年度の新入社員を対象にした調査結果」を表し、「23 年度中の就職活動」の内容を
尋ねた結果を集計している。同様に各年度は以下の通り。
「18 年度」…平成 17 年度中の就職活動
「19 年度」…平成 18 年度中の就職活動
「20 年度」…平成 19 年度中の就職活動
「21 年度」…平成 20 年度中の就職活動
「22 年度」…平成 21 年度中の就職活動
「23 年度」…平成 22 年度中の就職活動
- ・図表中の n は設問ごとの有効回答数を表す（クロス集計の場合は、その集計に使用した有効サンプルであり、単純
集計のサンプル数と異なる場合がある）
- ・数値（%）は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、集計結果の割合合計が 100%にならないことがある。
- ・複数回答の数値（%）は、選択肢ごとの回答数を有効サンプル数（n）で割った数値であるため、全ての割合を合計
すると、通常は 100 を超える。

5. 有効回答の属性

性別

	回答数(人)	構成比(%)
男性	270	56.7
女性	202	42.4
不明(無回答)	4	0.8
計	476	100.0

年齢

	回答数(人)	構成比(%)
19歳以下	158	33.2
20～21歳	76	16.0
22～24歳	189	39.7
25歳以上	49	10.3
不明(無回答)	4	0.8
計	476	100.0

最終学歴

	回答数(人)	構成比(%)
高校卒	169	35.5
短大卒	22	4.6
専門学校(高専卒を含む)卒	71	14.9
大学卒	176	37.0
大学院卒	23	4.8
その他	3	0.6
不明(無回答)	12	2.5
計	476	100.0

「その他」は回答数が少ないため、分析は省略している。

就職先企業の業種

	回答数(人)	構成比(%)
製造業	163	34.2
建設業	27	5.7
卸・小売業	52	10.9
運輸業	4	0.8
飲食・宿泊業	13	2.7
サービス業	126	26.5
医療、介護・福祉	17	3.6
公務員	1	0.2
その他	51	10.7
不明(無回答)	22	4.6
計	476	100.0

アンケート調査の分析

就職活動状況・就職観に関する調査

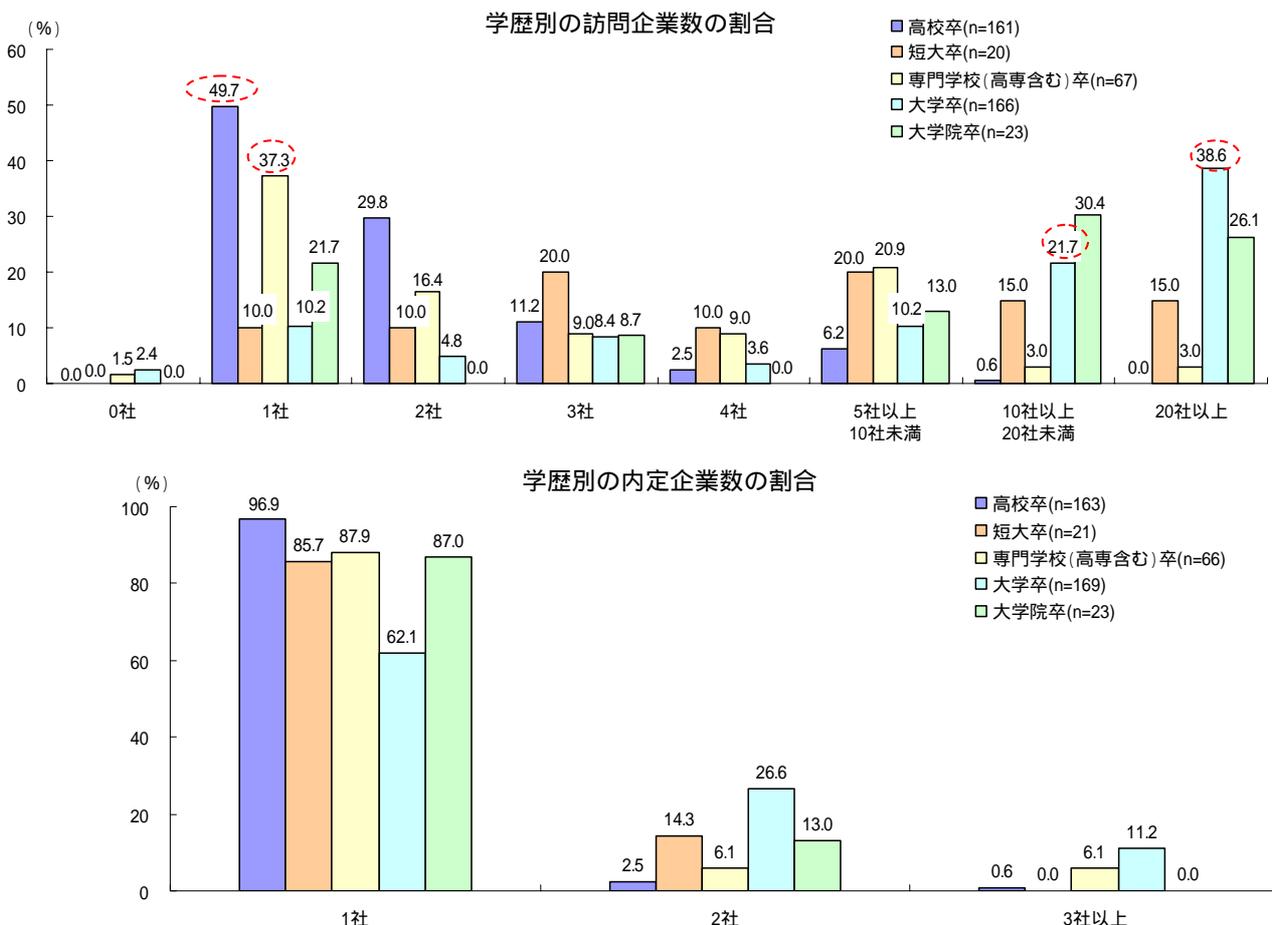
1. 就職活動状況

1 - 1. 訪問企業数と内定した企業数

就職活動で“訪問した企業の数(訪問企業数)”と“内定した企業の数(内定企業数)”を尋ねた。

訪問した企業数は、高校卒は約半数が「1社」である(49.7%)。大学卒は、「20社以上」が38.6%、「10社以上20社未満」が21.7%となっており、10社以上訪問した回答割合が約6割を占める(60.3%)。専門学校(高専を含む)は、「1社」が最も多い(37.3%)。

内定した企業数は、どの学歴でも「1社」が最も多い。



訪問した企業の数と、内定した企業数を平均（設問の有効サンプルの平均）し、学歴別に1人あたりの“平均訪問企業数”と“平均内定企業数”を算出した。

平成23年度調査と比較すると、訪問企業数は、大学院卒、短大卒のほかは、ほとんど変化していない。大学卒の数値（17.4社）は23年度と同様、20年度の2倍超となっている。

内定企業数は、23年度と同水準で、ほとんど変化がみられない。

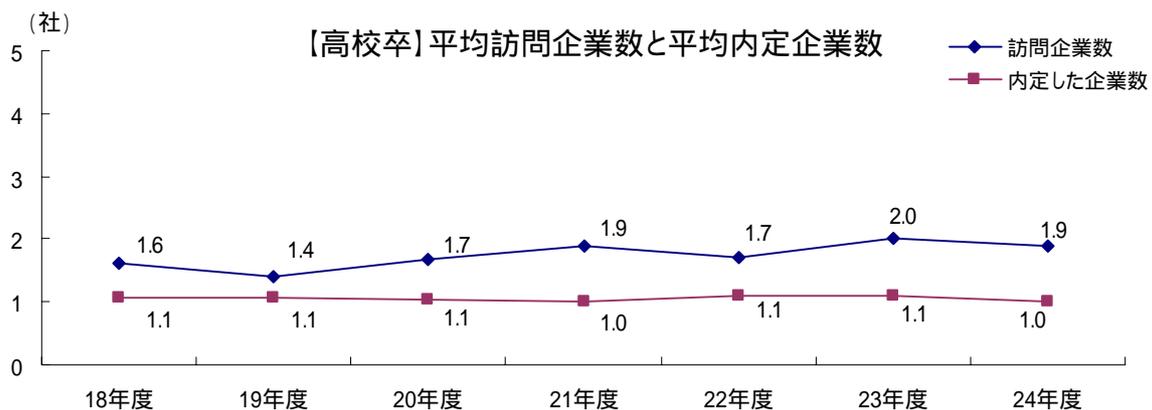
【学歴別の平均訪問企業数】

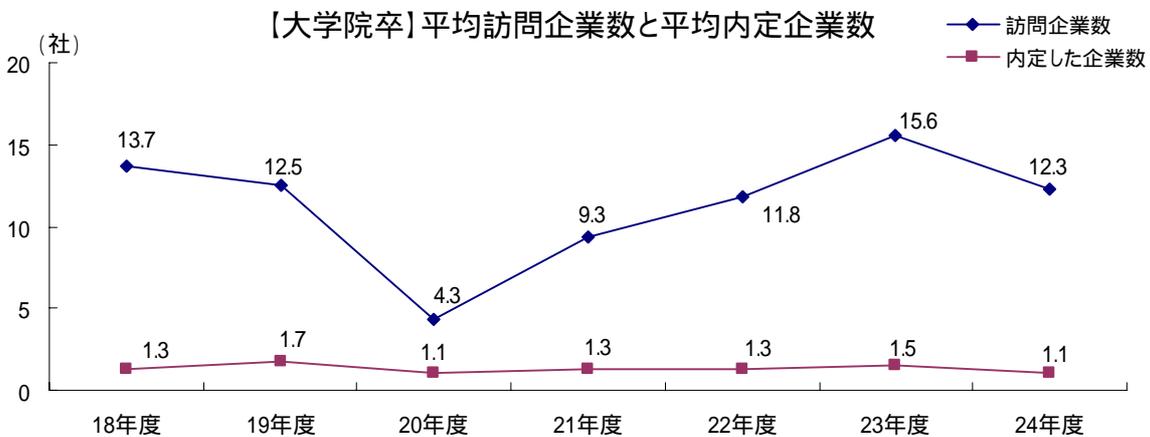
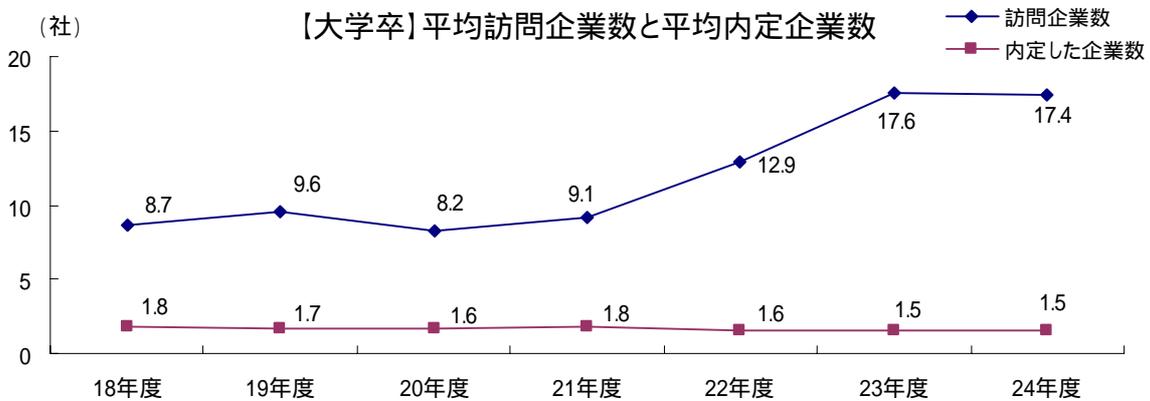
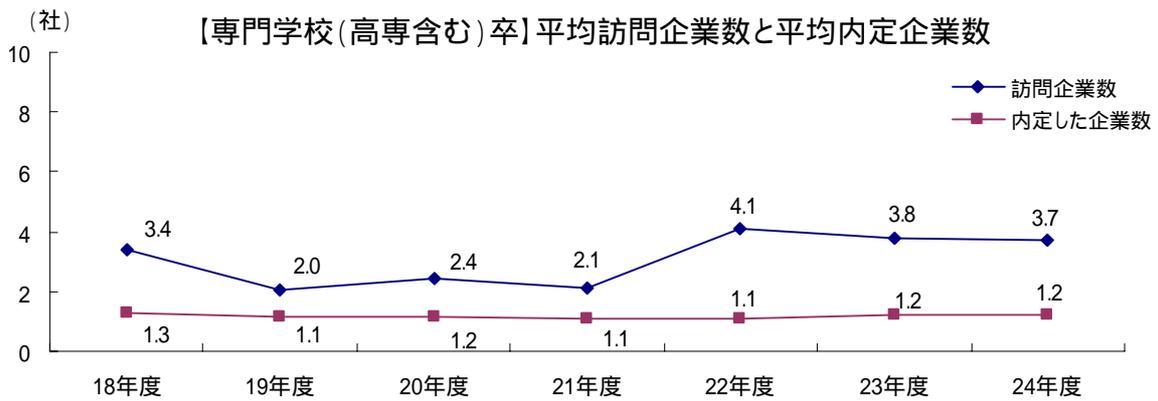
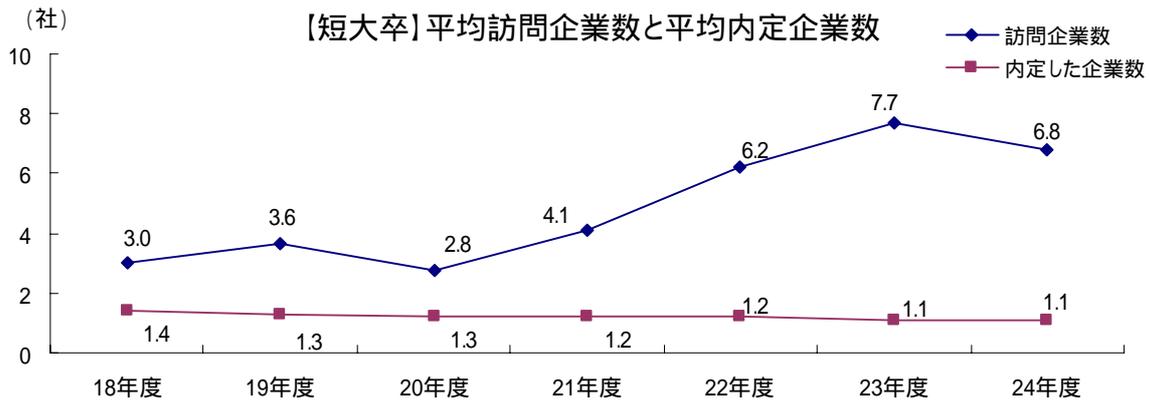
	平均訪問企業数 (社)	平成23年度調査との差 (社)
高校卒 (n=161)	1.9	0.1
短大卒 (n=20)	6.8	0.9
専門学校(高専含む)卒(n=66)	3.7	0.1
大学卒 (n=162)	17.4	0.2
大学院卒 (n=23)	12.3	3.3

【学歴別の平均内定企業数】

	平均内定企業数 (社)	平成23年度調査との差 (社)
高校卒 (n=163)	1.0	0.1
短大卒 (n=21)	1.1	0.0
専門学校(高専含む)卒(n=66)	1.2	0.0
大学卒 (n=169)	1.5	0.0
大学院卒 (n=23)	1.1	0.4

【学歴別の平均訪問企業数と平均内定企業数の推移】

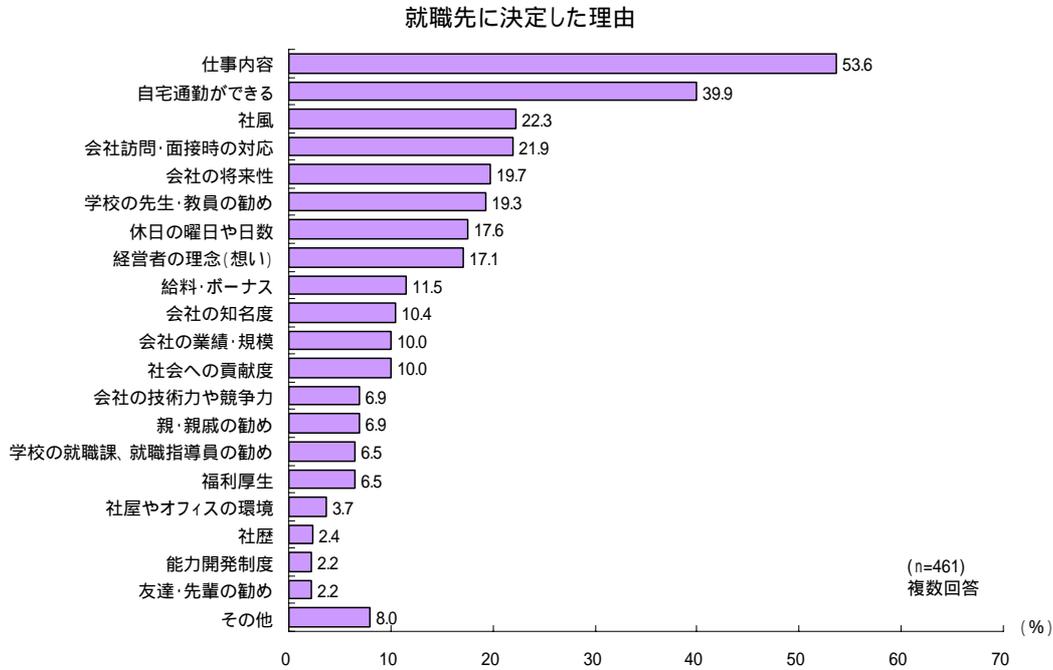




2. 企業を選んだ基準

2 - 1. 就職先に決定した理由（複数回答）

“就職先に決定した理由”については、「仕事内容」が53.6%と最も高く、次いで「自宅通勤できる（39.9%）」、「社風（22.3%）」、「会社訪問・面接時の対応（21.9%）」が続く。



男女別でみると、男女ともに「仕事内容」の回答割合が最も高い。

男性の方が「会社の将来性（22.7%）」、「社会への貢献度（13.1%）」、「会社の業績・規模（12.3%）」、「会社の技術力や競争力（10.8%）」等の回答割合が高く、女性の方が「自宅通勤ができる（52.3%）」、「社風（26.9%）」、「会社訪問・面接時の対応（25.4%）」、「休日の曜日や日数（20.3%）」等の回答割合が高い。

【「就職先に決定した理由」 男女別回答割合】

(%)

		会社の知名度	会社の将来性	会社の業績・規模	会社の技術力や競争力	社歴	仕事内容	給料・ボーナス
男女別全体 (n=457)		10.5	19.9	10.1	7.0	2.4	53.6	11.6
男女別	男性 (n=260)	10.8	22.7	12.3	10.8	3.5	52.7	11.9
	女性 (n=197)	10.2	16.2	7.1	2.0	1.0	54.8	11.2
		経営者の理念(想い)	社会への貢献度	社風	能力開発制度	自宅通勤ができる	休日の曜日や日数	学校の先生・教員の勧め
男女別全体 (n=457)		17.1	10.1	22.3	2.2	40.0	17.5	19.5
男女別	男性 (n=260)	17.3	13.1	18.8	2.7	30.8	15.4	20.4
	女性 (n=197)	16.8	6.1	26.9	1.5	52.3	20.3	18.3
		学校の就職課、就職指導員の勧め	親・親戚の勧め	友達・先輩の勧め	社屋やオフィスの環境	会社訪問・面接時の対応	福利厚生	その他
男女別全体 (n=457)		6.6	7.0	2.2	3.5	21.7	6.6	8.1
男女別	男性 (n=260)	5.4	6.9	2.3	1.5	18.8	4.6	8.5
	女性 (n=197)	8.1	7.1	2.0	6.1	25.4	9.1	7.6

学歴別でみると、すべてで「仕事内容」の回答割合が最も高い。

高校卒と専門学校(高専含む)卒は「学校の先生・教員の勧め」の回答割合が、32.5%、27.1%と他の学歴より高い。また専門学校(高専含む)卒は、「学校の就職課、就職指導員の勧め(17.1%)」が他の学歴より高い。

短大卒は「自宅通勤ができる(54.5%)」の回答割合が他の学歴より高く、大学卒は「社風(32.4%)」の回答割合が他の学歴よりも高い。

大学院卒は「仕事内容(78.3%)」「経営者の理念(想い)(34.8%)」「社会への貢献度(26.1%)」が他の学歴より高い。

【「就職先に決定した理由」 学歴別回答割合】

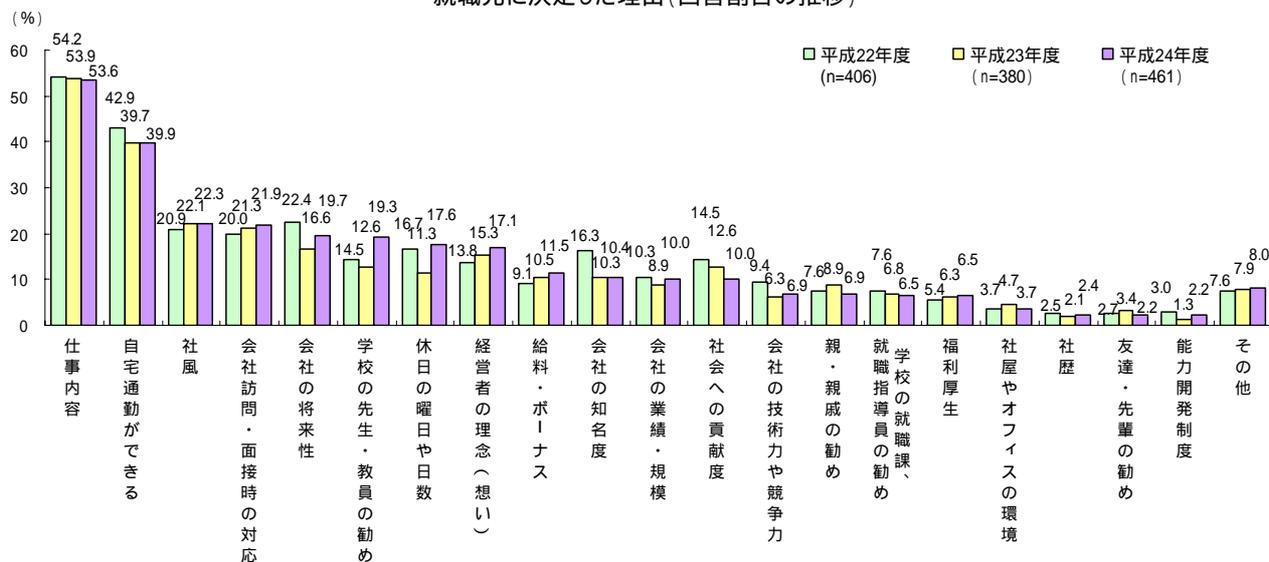
(%)

		会社の知名度	会社の将来性	会社の業績・規模	会社の技術力や競争力	社歴	仕事内容	給料・ボーナス
学歴別全体(n=451)		10.4	19.5	10.0	6.9	2.2	53.2	10.9
学歴別	高校卒(n=160)	7.5	13.1	10.0	6.3	0.6	45.0	13.1
	短大卒(n=22)	18.2	18.2	13.6	4.5	0.0	63.6	9.1
	専門学校(高専含む)卒(n=70)	15.7	24.3	11.4	12.9	4.3	48.6	11.4
	大学卒(n=173)	11.0	23.1	8.1	4.6	3.5	58.4	9.8
	大学院卒(n=23)	4.3	26.1	17.4	13.0	0.0	78.3	4.3
		経営者の理念(想い)	社会への貢献度	社風	能力開発制度	自宅通勤ができる	休日の曜日や日数	学校の先生・教員の勧め
学歴別全体(n=451)		17.1	10.2	22.4	2.2	40.1	17.5	19.5
学歴別	高校卒(n=160)	9.4	3.8	15.6	1.9	44.4	23.1	32.5
	短大卒(n=22)	9.1	0.0	18.2	0.0	54.5	22.7	9.1
	専門学校(高専含む)卒(n=70)	14.3	7.1	18.6	0.0	37.1	7.1	27.1
	大学卒(n=173)	24.3	16.8	32.4	4.0	37.6	17.3	5.2
	大学院卒(n=23)	34.8	26.1	13.0	0.0	26.1	8.7	13.0
		学校の就職課、就職指導員の勧め	親・親戚の勧め	友達・先輩の勧め	社屋やオフィスの環境	会社訪問・面接時の対応	福利厚生	その他
学歴別全体(n=451)		6.7	7.1	2.2	3.8	22.0	6.4	8.2
学歴別	高校卒(n=160)	6.9	8.8	2.5	3.8	20.0	4.4	11.3
	短大卒(n=22)	4.5	4.5	0.0	4.5	13.6	13.6	9.1
	専門学校(高専含む)卒(n=70)	17.1	5.7	2.9	2.9	20.0	8.6	4.3
	大学卒(n=173)	3.5	7.5	1.7	4.6	25.4	6.9	7.5
	大学院卒(n=23)	0.0	0.0	4.3	0.0	21.7	4.3	0.0

23年度と比較すると、「学校の先生・教員の勧め」(前年比+6.7ポイント)、「休日の曜日や日数」(同+6.3ポイント)、「会社の将来性」(同+3.1ポイント)、「経営者の理念(想い)」(同+1.8ポイント)等の回答割合が上昇した。そのうち、「経営者の理念(想い)」は4年連続で上昇している(20年度:11.8%、21年度:12.1%)

一方で、「社会への貢献度」(同 2.6ポイント)、「親・親戚の勧め」(同 2.0ポイント)などの回答割合は低下している。なかでも、「社会への貢献度」は、2年連続で低下している。

就職先に決定した理由(回答割合の推移)

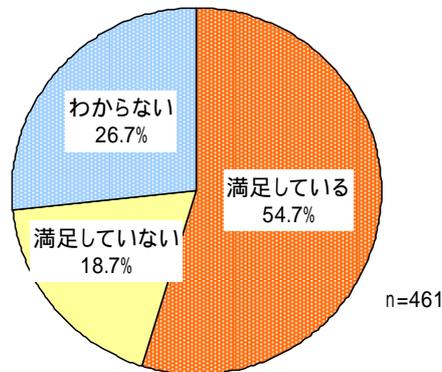


3 . 就職活動を振り返って

3 - 1 . 満足しているかどうか

“ 就職活動に満足をしているか ” については、「満足している (54.7%)」が 5 割以上を占める。

就職活動に満足しているか



男女別では、回答割合に大きな差が見られなかった。

【「就職活動の満足度」 男女別回答割合】

(%)

		満足している	満足していない	わからない
男女別全体 (n=458)		54.6	18.8	26.6
男女別	男性 (n=263)	54.8	20.9	24.3
	女性 (n=195)	54.4	15.9	29.7

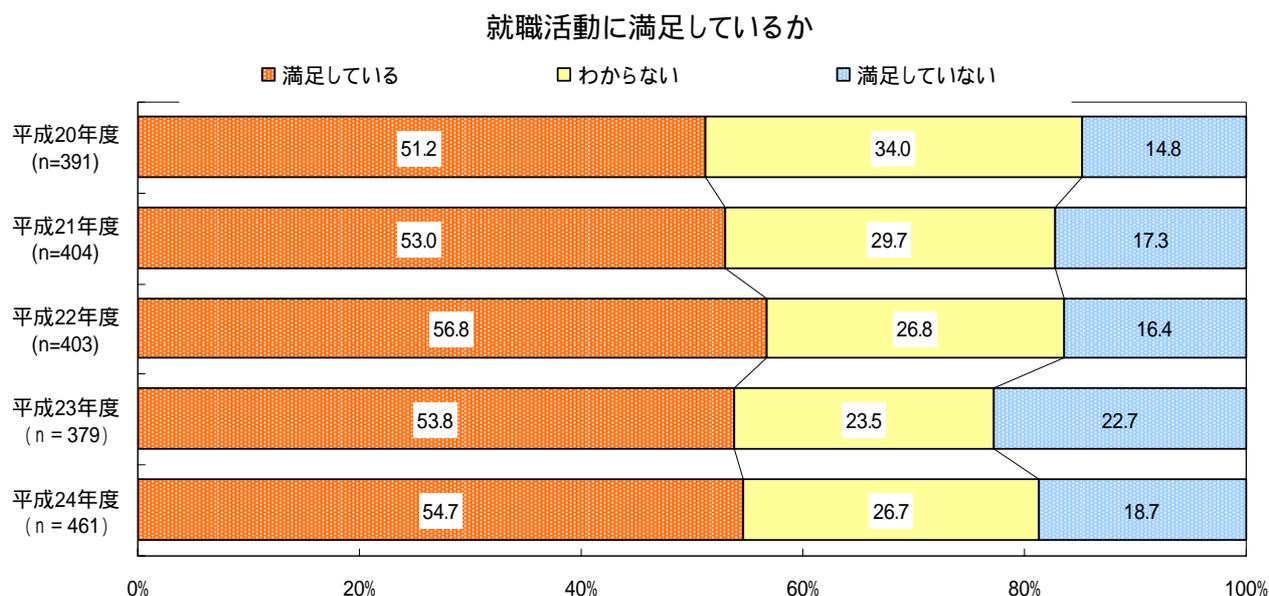
学歴別でみると、短大卒は「満足していない (40.9%)」の回答割合が他の学歴と比べて高い。大学院卒は「満足している (65.2%)」の回答割合が他の学歴と比べて高い。

【「就職活動の満足度」 学歴別回答割合】

(%)

		満足している	満足していない	わからない
学歴別全体 (n=451)		54.5	18.6	26.8
学歴別	高校卒 (n=161)	54.7	12.4	32.9
	短大卒 (n=22)	40.9	40.9	18.2
	専門学校 (高専含む) 卒 (n=68)	55.9	13.2	30.9
	大学卒 (n=174)	54.0	22.4	23.6
	大学院卒 (n=23)	65.2	26.1	8.7

23年度調査と比較すると、「満足している」(前年比+0.9ポイント)の回答割合はあまり変化がない。一方、「満足していない」(同 4.0ポイント)が低下し、「わからない」(同+3.2ポイント)が上昇している。



3 - 2 . 満足・不満足の原因（自由記入回答）

自由記入方式で回答を求めた結果から特徴あるものを、満足している、満足していない、わからないの別に抜粋した（一部、編集を加えている）。

「満足」の理由

【具体的な回答内容】

- ・第一志望の企業に就職できたから（大学卒）
- ・希望する場所・職種で、そして、やりがいのある会社に就職することができたから（大学卒）
- ・志望する業界に進むことができたから（大学卒）
- ・早期に決まったから（大学卒）
- ・自分がなりたい職種に就けたから（高校卒）
- ・就職難の時代だけど、きちんと就職することができたから（高校卒）
- ・やりがいのある仕事ができそうだから（高校卒）
- ・自分らしさを発揮できる仕事に就けたと考えているから（大学卒）
- ・これから自分の夢の実現のために必要な知識やスキルを身につけられると思うから（大学卒）
- ・自宅近くで通勤できるから（専門学校（高専含む）卒）
- ・県内で就職できたから（大学卒）
- ・あきらめないで自分の納得のいくまで就職活動を行えたから（大学卒）
- ・努力を認められたから（専門学校（高専含む）卒）
- ・落ちた分だけ自分の力になったから（高校卒）
- ・周囲に流されず自分なりの就活ができたから（大学卒）
- ・企業見学に積極的に参加することで色々な職業を知ることができたから（高校卒）
- ・たくさんの企業を訪問して決めることができたから（専門学校（高専含む）卒）
- ・自己分析や面接を通して自己理解が深まったから（大学卒）
- ・自分を見つめることが出来たから（短大卒）
- ・面接時に自分のアピールをしっかりと行うことができた。また、疑問に思った点を確認することができたから（高校卒）
- ・職場がとても良いから（人柄や仕事内容など）(大学卒)

- ・職場の雰囲気も良さそうだし、同期に恵まれたから（大学卒）
- ・雰囲気が明るく、新たな目標が生まれたから（大学卒）
- ・社長に人間味があり、まず人のことを考えているから（大学卒）

「不満足」の理由

【具体的な回答内容】

- ・第一志望の会社に入れなかったから（専門学校（高専含む）卒）
- ・志望していた業界に就職できなかったから（大学卒）
- ・活動を開始する時期や活動内容が、他の方に比べて遅かったから（大学卒）
- ・もっと早く就職活動を始めれば良かったと後悔しているから（短大卒）
- ・内定を1社からいただいた時点で就職活動を止めてしまったから（大学卒）
- ・もっと多くの企業を見るべきだったと感じているから（大学院卒）
- ・自分のやりたいことが定まっていなまま活動したから（高校卒）
- ・自分が何をやりたいのか分からずに活動していたから（短大卒）
- ・面接が苦手で上手く発言できなかったから（高校卒）
- ・自己分析が不足していたから（大学卒）
- ・三重県内の新卒の求人が少なく対象企業が少なかったから（大学卒）

「わからない」の理由

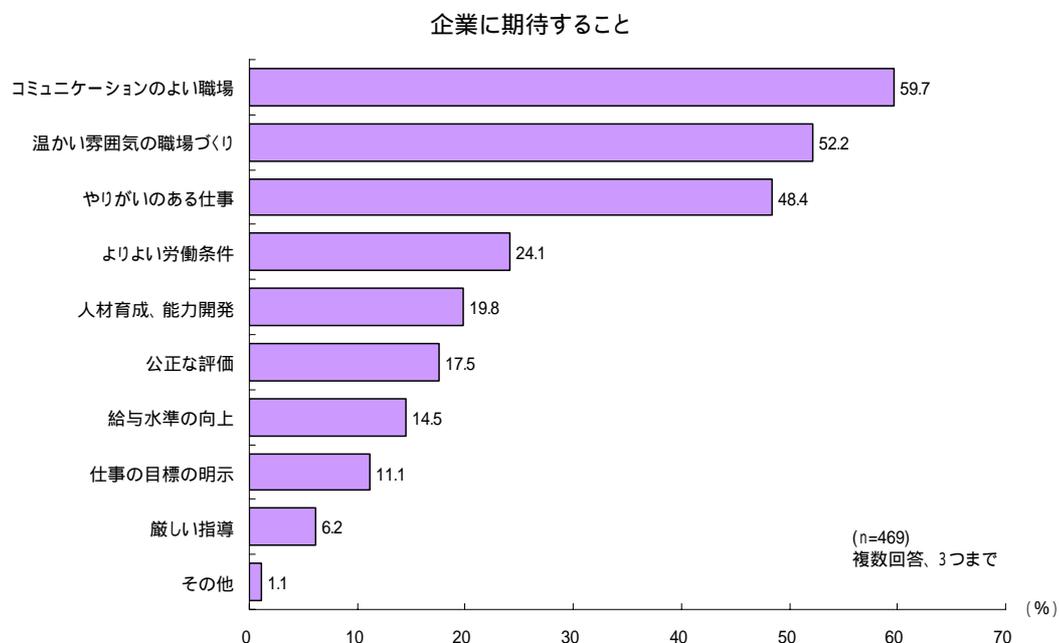
【具体的な回答内容】

- ・実際に働いてみないと、この会社を選択して正しかったのかわからないから（大学卒）
- ・まだ就職したばかりで、やりがいかわからないから（専門学校（高専含む）卒）
- ・訪問した企業が少ないから（高校卒）
- ・もう少し時間をかければよかったかもしれないと思うから（大学卒）
- ・試験を受けたのが1社のみだったので実感がないから（専門学校（高専含む）卒）
- ・先生に勧められるまま就職したから（専門学校（高専含む）卒）
- ・未だに自分が本当に何をしたいのかわからないから

4. 入社後について思うこと

4-1. 企業に期待すること（複数回答、3つまで）

“入社した企業にどのようなことを期待するか”については、「コミュニケーションのよい職場」が59.7%と最も高く、次いで「温かい雰囲気職場づくり」が52.2%、「やりがいのある仕事」が48.4%と続く。



男女別で見ると、男女ともに「コミュニケーションのよい職場」の回答割合が最も高い。男性の方が「人材育成、能力開発(25.3%)」「公正な評価(20.4%)」「給与水準の向上(17.4%)」「仕事の目標の明示(13.6%)」「厳しい指導(10.6%)」等の回答割合が高く、女性の方が「コミュニケーションのよい職場(67.5%)」「温かい雰囲気職場づくり(61.5%)」「やりがいのある仕事(55.0%)」の回答割合が高い。

【「企業に期待すること」 男女別回答割合】

(%)

		仕事の目標の明示	公正な評価	厳しい指導	コミュニケーションのよい職場	温かい雰囲気職場づくり	人材育成、能力開発	給与水準の向上
男女別全体(n=465)		11.2	17.6	6.2	59.6	52.3	19.8	14.6
男女別	男性(n=265)	13.6	20.4	10.6	53.6	45.3	25.3	17.4
	女性(n=200)	8.0	14.0	0.5	67.5	61.5	12.5	11.0
		よりよい労働条件	やりがいのある仕事	その他				
男女別全体(n=465)		24.1	48.4	1.1				
男女別	男性(n=265)	24.5	43.4	1.1				
	女性(n=200)	23.5	55.0	1.0				

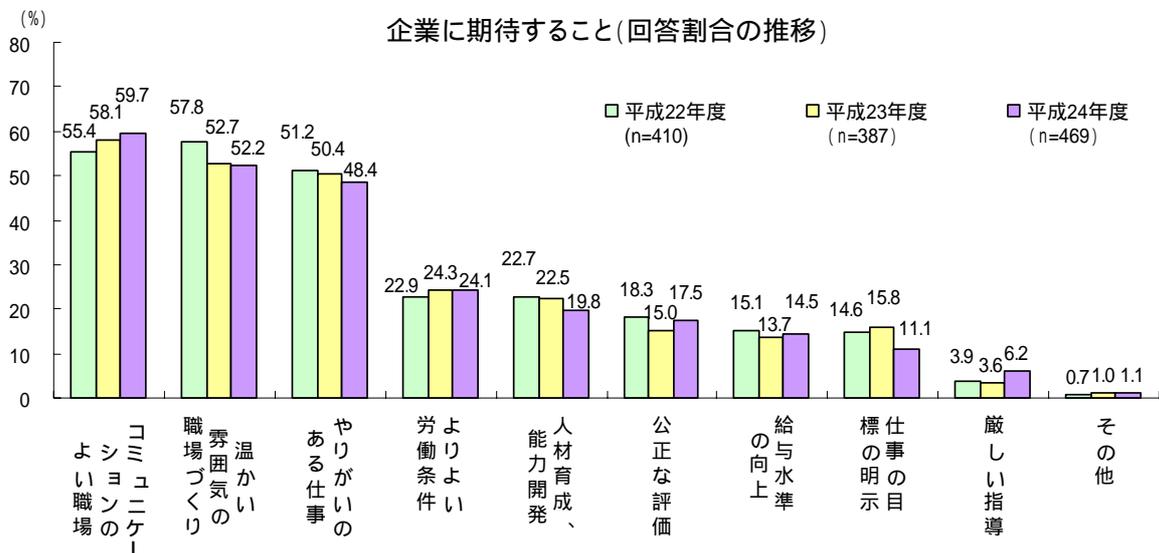
学歴別でみると、大学院卒を除いて、「コミュニケーションのよい職場」の回答割合が最も高い。大学院卒は「公正な評価(34.8%)」「仕事の目標の明示(30.4%)」「人材育成、能力開発(30.4%)」が他の学歴に比べて高い。

【「企業に期待すること」 学歴別回答割合】

(%)

		仕事の目標の明示	公正な評価	厳しい指導	コミュニケーションのよい職場	温かい雰囲気職場づくり	人材育成、能力開発	給与水準の向上
学歴別全体(n=459)		11.1	17.6	5.9	60.1	52.7	20.3	14.4
学歴別	高校卒(n=165)	12.1	18.8	1.8	58.8	55.2	10.9	17.6
	短大卒(n=22)	9.1	13.6	9.1	77.3	59.1	4.5	13.6
	専門学校(高専含む)卒(n=71)	7.0	9.9	2.8	62.0	54.9	26.8	11.3
	大学卒(n=175)	9.7	18.3	10.3	62.3	50.9	27.4	12.6
	大学院卒(n=23)	30.4	34.8	8.7	26.1	34.8	30.4	17.4
		よりよい労働条件	やりがいのある仕事	その他				
学歴別全体(n=459)		23.1	48.8	1.1				
学歴別	高校卒(n=165)	21.2	50.3	1.8				
	短大卒(n=22)	22.7	45.5	4.5				
	専門学校(高専含む)卒(n=71)	18.3	57.7	0.0				
	大学卒(n=175)	26.3	44.6	0.6				
	大学院卒(n=23)	26.1	52.2	0.0				

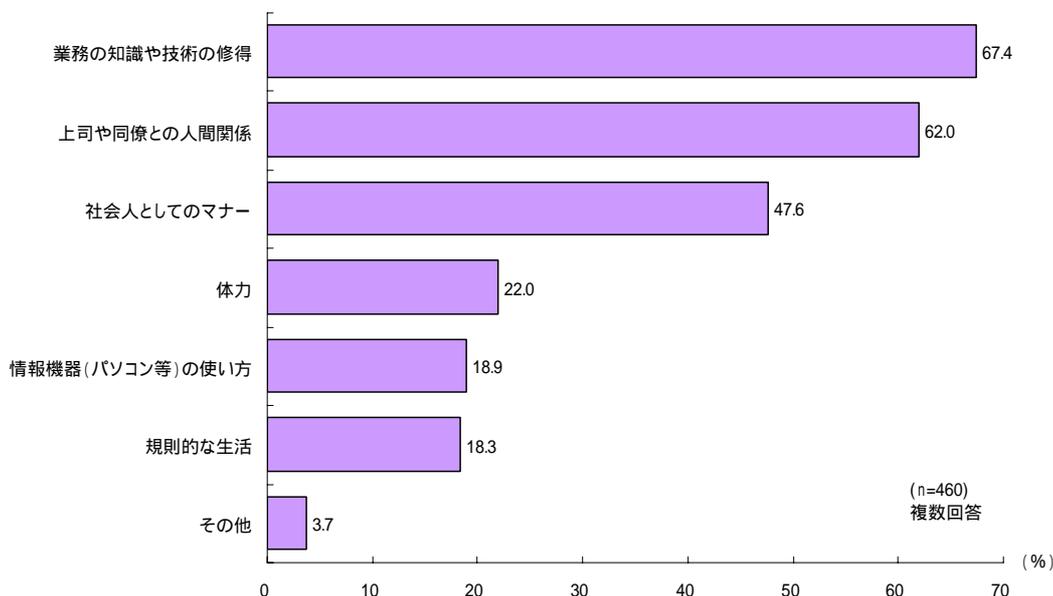
過去3年間を比較してみると、「コミュニケーションのよい職場」は上昇傾向で、「温かい雰囲気職場づくり」「やりがいのある仕事」「人材育成、能力開発」は低下傾向にある。



4 - 2 . 就職して不安なこと (複数回答)

“ 就職して不安に感じていること ” については、「業務の知識や技術の修得」が 67.4% と最も高く、次いで「上司や同僚との人間関係」が 62.0% と続いており、いずれも 6 割超となっている。

就職して不安なこと



男女別にみると、男女とも「業務の知識や技能の修得」の回答割合が最も高いが、女性の方がより高い (76.8%)

【「就職して不安なこと」 男女別回答割合】

(%)

		上司や同僚との人間関係	業務の知識や技術の修得	情報機器(パソコン等)の使い方	社会人としてのマナー	規則的な生活	体力	その他
男女別全体 (n=456)		62.1	67.8	18.9	47.6	18.0	21.9	3.7
男女別	男性 (n=258)	60.1	60.9	17.1	47.3	20.9	20.9	5.4
	女性 (n=198)	64.6	76.8	21.2	48.0	14.1	23.2	1.5

学歴別にみると、高校卒を除いて、「業務の知識や技術の修得」の回答割合が最も高い。

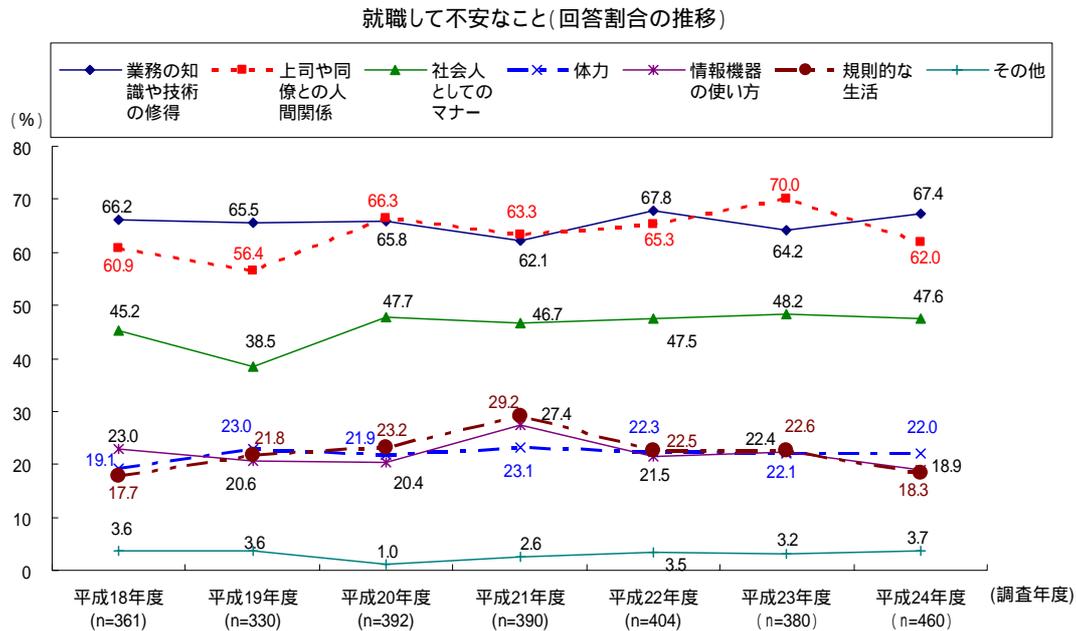
短大卒は、「上司や同僚との人間関係(72.7%)」が他の学歴よりも回答割合が高い。大学院卒は、「社会人としてのマナー(63.6%)」「規則的な生活(40.9%)」が他の学歴よりも高い。

【「就職して不安なこと」 学歴別回答割合】

(%)

		上司や同僚との人間関係	業務の知識や技術の修得	情報機器(パソコン等)の使い方	社会人としてのマナー	規則的な生活	体力	その他
学歴別全体 (n=451)		62.3	67.6	18.6	47.7	18.2	21.7	3.8
学歴別	高校卒 (n=161)	64.6	64.0	19.9	52.2	19.3	24.2	3.7
	短大卒 (n=22)	72.7	77.3	27.3	40.9	22.7	18.2	4.5
	専門学校(高専含む)卒 (n=71)	67.6	77.5	11.3	39.4	9.9	19.7	2.8
	大学卒 (n=172)	57.0	65.7	21.5	45.9	16.9	21.5	4.7
	大学院卒 (n=22)	59.1	72.7	0.0	63.6	40.9	9.1	0.0

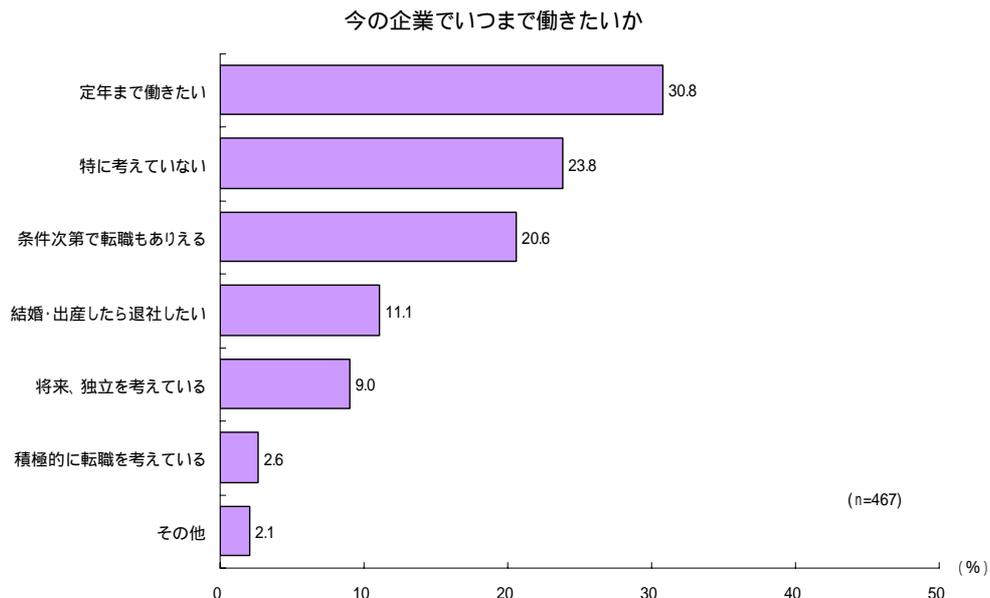
23年度調査と比較すると、「業務の知識や技術の修得」の回答割合が上昇し（前年比+3.2ポイント）、2年ぶりにトップになった。「情報機器（パソコン等）の使い方（同 3.5ポイント）」「規則的な生活（同 4.3ポイント）」は低下し、近年は低下傾向にある。



5. 入社後のスタイル

5 - 1. 今の企業でいつまで働きたいか

“今の企業でいつまで働きたいか”については、「定年まで働きたい」が、30.8%と最も高く、次いで「特に考えていない(23.8%)」、「条件次第で転職もありえる(20.6%)」が続く。



男女別でみると、男性は「定年まで働きたい(42.8%)」の回答割合が最も高く、女性より27.7ポイント高い。一方、「条件次第で転職もありえる(24.6%)」の回答割合も女性より高い。

女性は「特に考えていない(34.2%)」の回答割合が最も高く、次いで、「結婚・出産したら退社したい(26.1%)」となっている。

【「今の企業でいつまで働きたいか」 男女別回答割合】 (%)

		定年まで働きたい	条件次第で転職もありえる	積極的に転職を考えている	将来、独立を考えている	結婚・出産したら退社したい	特に考えていない	その他
男女別全体(n=463)		30.9	20.5	2.6	8.9	11.2	23.8	2.2
男女別	男性(n=264)	42.8	24.6	2.7	11.7	0.0	15.9	2.3
	女性(n=199)	15.1	15.1	2.5	5.0	26.1	34.2	2.0

学歴別でみると、「定年まで働きたい」の回答割合が、高校卒では32.5%、大学卒では31.4%、大学院卒では52.2%と短大卒、専門学校(高専含む)卒よりも高い。また、「条件次第で転職もありえる」の回答割合は、大学卒が26.2%と他の学歴よりも高い。

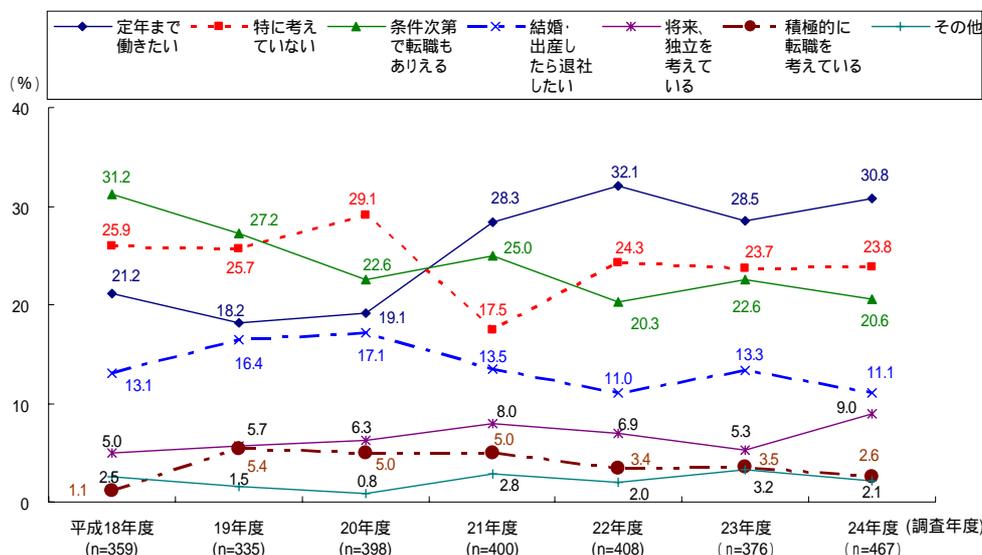
専門学校(高専含む)卒は、他の学歴より「将来独立を考えている(14.1%)」の回答割合が高い。また、短大卒は、女性の割合が高いこともあり、他の学歴より「結婚・出産したら退社したい(31.8%)」の回答割合が高い。

【「今の企業でいつまで働きたいか」 学歴別回答割合】 (%)

		定年まで働きたい	条件次第で転職もありえる	積極的に転職を考えている	将来、独立を考えている	結婚・出産したら退社したい	特に考えていない	その他
学歴別全体(n=457)		30.9	20.6	2.6	8.8	11.2	23.9	2.2
学歴別	高校卒(n=166)	32.5	13.9	3.0	4.8	12.7	30.7	2.4
	短大卒(n=22)	18.2	18.2	0.0	4.5	31.8	27.3	0.0
	専門学校(高専含む)卒(n=71)	21.1	22.5	4.2	14.1	8.5	22.5	7.0
	大学卒(n=172)	31.4	26.2	2.3	11.0	9.9	18.6	0.6
	大学院卒(n=23)	52.2	21.7	0.0	8.7	0.0	17.4	0.0

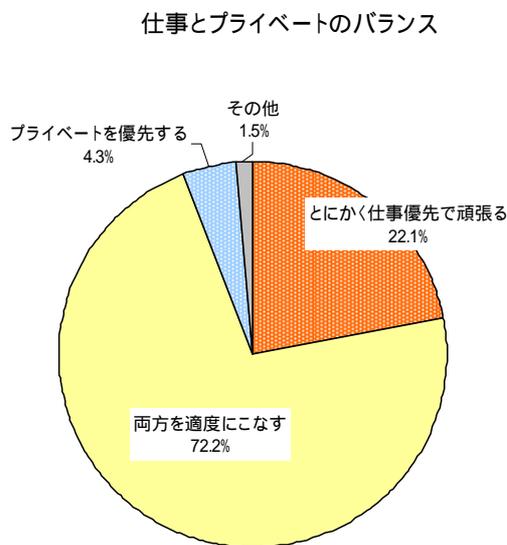
22年度以降は、順位に変化はみられないが、23年度と比較して、「将来、独立を考えている」の回答割合が上昇している(前年比+3.7ポイント)。

就職先でいつまで働きたいか(回答割合の推移)



5 - 2 . 仕事とプライベートのバランス

“仕事とプライベートのバランスをどのように考えているか”については、「両方を適度にこなす（72.2%）」が約7割を占めている。



(n=467)

男女別では、男女ともに「両方を適度にこなす」の回答割合が最も高く、次いで「とにかく仕事優先で頑張る」が続く。男性の方が、「とにかく仕事優先で頑張る（25.0%）」の回答割合が高い。

【「仕事とプライベートのバランス」 男女別回答割合】

(%)

		とにかく仕事優先で頑張る	プライベートを優先する	両方を適度にこなす	その他
男女別全体 (n=463)		21.8	4.3	72.4	1.5
男女別	男性 (n=264)	25.0	4.9	67.4	2.7
	女性 (n=199)	17.6	3.5	78.9	0.0

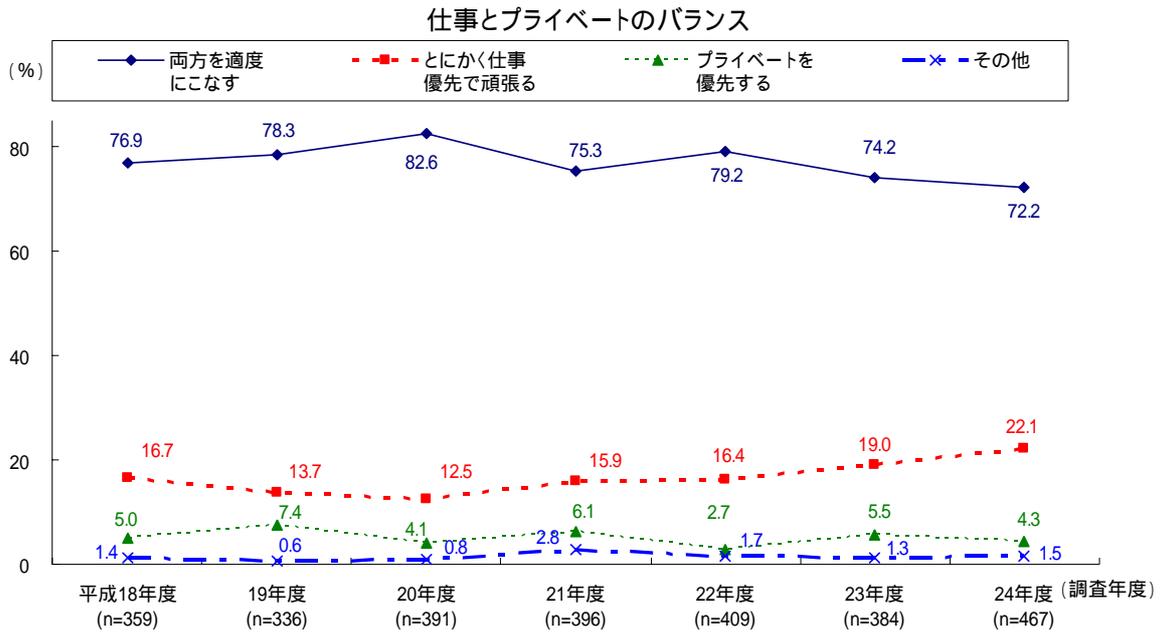
学歴別でみると、すべての学歴で「両方を適度にこなす」の回答割合が最も高い。短大卒では、「とにかく仕事優先で頑張る（13.6%）」の回答割合が他と比べて低くなっている。

【「仕事とプライベートのバランス」 学歴別回答割合】

(%)

		とにかく仕事優先で頑張る	プライベートを優先する	両方を適度にこなす	その他
学歴別全体 (n=457)		21.9	3.5	73.1	1.5
学歴別	高校卒 (n=165)	22.4	2.4	75.2	0.0
	短大卒 (n=22)	13.6	4.5	81.8	0.0
	専門学校(高専含む)卒 (n=71)	22.5	5.6	71.8	0.0
	大学卒 (n=173)	22.5	3.5	70.5	3.5
	大学院卒 (n=23)	21.7	0.0	73.9	4.3

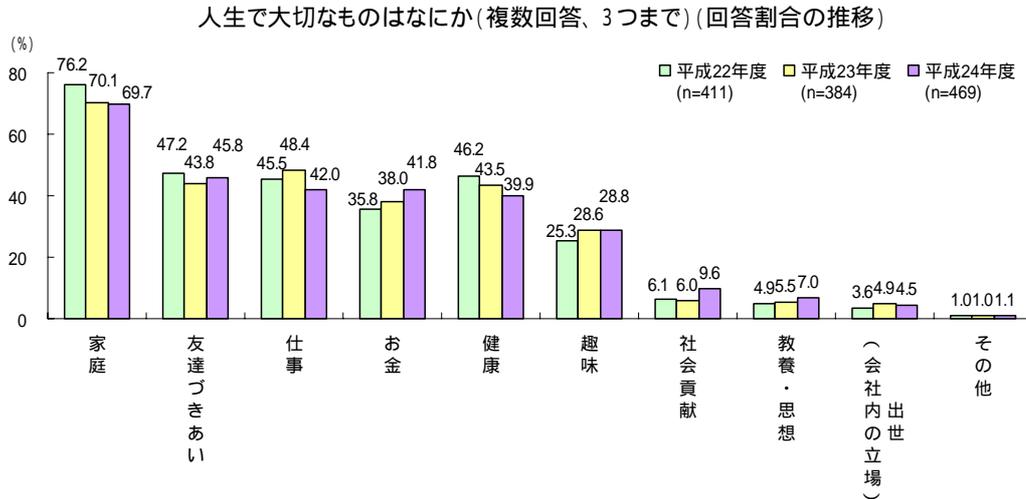
「両方を適度にこなす」の回答割合は2年連続低下している（前年比 2.0ポイント）。一方で、「とにかく仕事優先で頑張る」は4年連続上昇している（同+3.1ポイント）。



6. 人生で大切だと思うもの（複数回答、3つまで）

“あなたにとって、人生で大切なものはなにか”については、「家庭」との回答が69.7%と最も高く、次いで「友達づきあい（45.8%）」、「仕事（42.0%）」が続く。

23年度調査と比較して、「友達づきあい」（前年比+2.0ポイント）の回答割合が上昇し、3位から2位になり、「お金（41.8%）」は2年連続で上昇し、5位から4位になった。一方、「健康（39.9%）」は2年連続で低下している。



男女別にみると、男女ともに「家庭」の回答割合が最も高い。
女性の方が「友達づきあい（50.0%）」、「健康（45.0%）」の回答割合が高くなっている。

【「人生で大切なもの」 男女別回答割合】

(%)

		家庭	仕事	出世 (会社内の立身)	趣味	健康	お金	社会貢献
男女別全体 (n=465)		69.9	42.2	4.5	28.8	39.8	41.7	9.5
男女別	男性 (n=263)	66.9	42.6	8.0	31.2	35.7	39.5	11.8
	女性 (n=202)	73.8	41.6	0.0	25.7	45.0	44.6	6.4
		友達づきあい	教養・思想	その他				
男女別全体 (n=465)		45.8	6.9	1.1				
男女別	男性 (n=263)	42.6	8.7	0.8				
	女性 (n=202)	50.0	4.5	1.5				

学歴別では、すべてで「家庭」の回答割合が最も高い。

高校卒、短大卒では、「お金」の回答割合が他より高くなっている。

専門学校（高専含む）卒では、「友達づきあい（56.3%）」「仕事（47.9%）」「趣味（36.6%）」の回答割合が他より高くなっている。

大学卒では、「教養・思想（12.6%）」の回答割合が他より高くなっている。

大学院卒では、「社会貢献（21.7%）」「出世（会社内の立場）（17.4%）」の回答割合が他より高くなっている。

【「人生で大切なもの」 学歴別回答割合】 (%)

		家庭	仕事	出世 (会社内 の立場)	趣味	健康	お金	社会貢献
学歴別全体(n=459)		69.9	41.6	4.4	28.5	40.3	41.8	9.8
学歴別	高校卒(n=166)	74.7	39.8	3.6	24.1	39.8	51.2	7.8
	短大卒(n=22)	77.3	40.9	0.0	22.7	36.4	54.5	4.5
	専門学校(高専含む)卒(n=71)	60.6	47.9	2.8	36.6	38.0	45.1	4.2
	大学卒(n=174)	67.2	41.4	4.6	31.0	43.1	32.8	13.2
	大学院卒(n=23)	73.9	34.8	17.4	26.1	39.1	21.7	21.7
		友達づきあい	教養・思想	その他				
学歴別全体(n=459)		46.0	7.0	1.1				
学歴別	高校卒(n=166)	44.0	3.0	1.8				
	短大卒(n=22)	50.0	4.5	4.5				
	専門学校(高専含む)卒(n=71)	56.3	2.8	0.0				
	大学卒(n=174)	44.3	12.6	0.6				
	大学院卒(n=23)	34.8	8.7	0.0				

“ ゆとり世代 ” に関する意識調査

7 . 世間が “ ゆとり世代 ” と呼ぶことについての意識 今年度の調査で新しく設定した設問

一般に、昭和 62 年 4 月以降に生まれた世代を指して “ ゆとり世代 ” と呼ぶことがある。

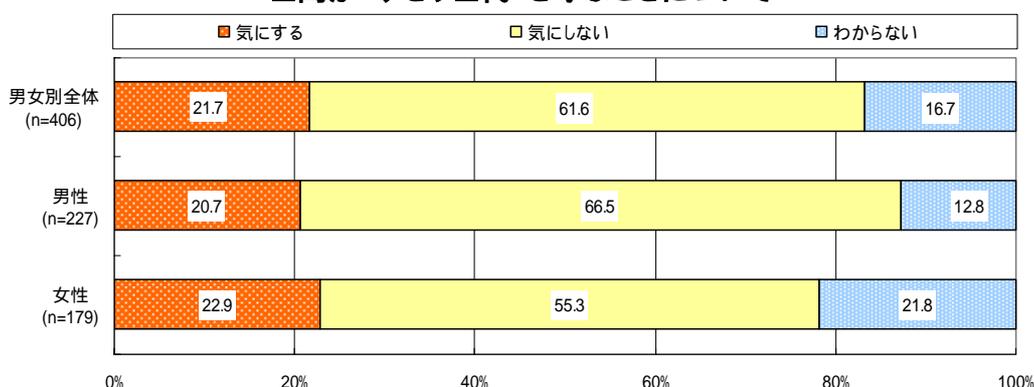
以下の設問は、“ ゆとり世代 ” の意識を把握するため、新入社員研修会の参加者のうち、“ ゆとり世代 ” に該当する平成 24 年 4 月時点で 25 歳未満の方のみ（423 人）を集計したものである。

7 - 1 . “ ゆとり世代 ” と呼ぶことについての意識

世間で “ ゆとり世代 ” と呼ぶことについてどう考えるか を尋ねた設問では、「気にしない」が全体の 6 割を占め（61.6%）、「気にする」は約 2 割（21.7%）となった。

男女別にみると、女性の方が、「わからない」の回答割合が高い（21.8%）。

世間が“ ゆとり世代 ” と呼ぶことについて



7 - 2 . 気にする・気にしない理由（自由記入回答）

自由記入方式で回答を求めた結果から特徴あるものを、気にする、気にしない、わからないの別に抜粋した（一部、編集を加えている）。

「気にする」の理由

【具体的な回答内容】

- ・何をしても（先輩と同じことをしても）ゆとりと言われるのが不愉快だから（大学卒）
- ・ただその時代で育ったというだけで悪いイメージになるから（大学卒）
- ・なんでも “ ゆとり世代 ” とまとめられてしまうから（大学卒）
- ・ひとくくりを考えられるのが嫌だから（大学生）
- ・ステレオタイプな考え方が気にいらないから（大学生）
- ・ゆとり世代に対して厳しい評価をされることが多いから（大学卒）
- ・ゆとり世代というだけで差別する人がいること自体が問題である（大学院卒）
- ・仕事がしっかりとできると思われていないから（大学生）
- ・大人の持っている若者への偏見であるから（高校卒）
- ・国が決めたことなのに、ゆとり世代というレッテルを張っているのが気になる。個人の頑張りに関係なく、そう認識するのは問題であるから（大学卒）
- ・ゆとり世代の悪いイメージ通りにならないように頑張っている人もいるため、ひとくくりされるのは不満であるから（大学卒）
- ・個人の本質を見ずに決めつけるところが好きではありません（高校卒）
- ・ゆとり世代だと見下す人を見返してあげたいと考えているから（大学卒）
- ・個人的に精一杯やっているつもりだが、世代でひとくくりされるのは心外である。一方、他の世代と考え方や、やり方にギャップを感じることもある（大学卒）
- ・明らかにゆとり教育の影響を受けている世代だという自覚があるから（大学卒）
- ・勉強の量が減ったと考えれば納得できるから（大学生）

- ・自分たちは楽をしていると思うから（専門学校（高専含む）卒）
- ・様々な点で先輩と違いを感じるから（大学院卒）
- ・自分たちの世代は学力が弱いことや、我慢に弱いと思うから（専門学校（高専含む）卒）
- ・知識が足りているか、とても不安です（高校卒）
- ・自分たちの世代は自分に甘いときがある。同世代でも「そんなことをするの？」と思うときがある（高校卒）
- ・世間に出るとどれだけの学力差があるのか心配になる（専門学校（高専含む）卒）

「気にしない」の理由

【具体的な回答内容】

- ・個人の評価とは別だから（大学卒）
- ・個人の頑張りによって変わるから（大学卒）
- ・自分の努力しだいと思うから（大学卒）
- ・自分は自分だから、周りの見た目での判断は気にしないから（大学卒）
- ・言われている以上に仕事ができればいい話だから（大学卒）
- ・自分は言われぬように頑張ればいから（高校卒）
- ・ゆとり世代と言われぬよう、しっかり学んで頑張りたい（高校卒）
- ・「最近の若者は…」という言葉は今日明日に言われはじめたことではないから（大学卒）
- ・先輩の話を聞いても、あまり世代間で変わらないと思うから（短大卒）
- ・他の世代との違いを感じないから（専門学校（高専含む）卒）
- ・ゆとりに悪い印象をもっていないから（短大卒）
- ・ゆとり世代であっても別に問題があると思わないから（大学卒）
- ・前の世代がどうだったから知らないから（大学卒）
- ・ゆとり世代が良いのか悪いのかはっきりしないから（大学卒）
- ・悪い影響や劣等感を感じたことがないから（高校卒）
- ・ゆとり世代であることに不都合だと感じたことがないから（大学卒）
- ・ゆとり世代と実感したことがないから（大学卒）
- ・ゆとり教育は、ゆとりがあるため何事にもチャレンジできるから良いと思う（高校卒）
- ・ゆとり世代からハニカミ王子のような個性派が生まれているから（大学卒）
- ・ゆとりという印象を覆すだけで、逆に好印象につながるから（大学卒）
- ・ギャップとしていい印象を持たせることもできるから（大学卒）
- ・大人たちが勝手にしたことで、自分に責任はないから（高校卒）
- ・ゆとりと自覚しているから（高校卒）
- ・周りの人から言われたことがない（高校卒）

「わからない」の理由

【具体的な回答内容】

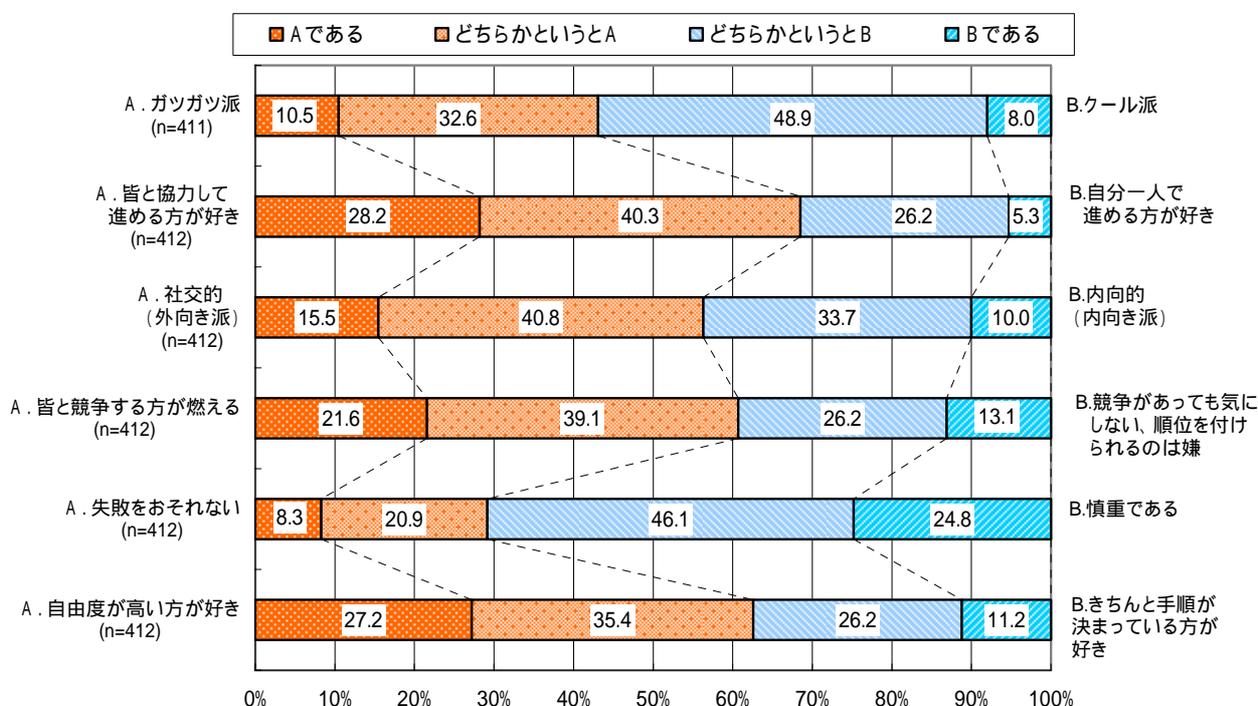
- ・どういうところが“ゆとり”なのかよくわからないから（大学卒）
- ・あまり実感がわからないから（高校卒）
- ・あたり前のようにゆとり教育を受けてきたからあまりよくわからないから（高校卒）
- ・私にとってそれが普通なのでわからない（専門学校（高専含む）卒）
- ・実際にこのように呼ばれたことがないので（大学卒）
- ・何とも思わない（高校卒、短大卒）

7 - 3 . 自分で考える “ 自己のタイプ ”

“ ゆとり世代 ” の新社会人は、自己はどのようなタイプだと認識しているのかを把握するため、6つの切り口から物事を進めるときの自己のタイプの評価を求めた。

- ・「 A . ガツガツ派 」か「 B . クール派 」
「クール派」の方が、「ガツガツ派」よりも若干であるが回答割合が高い(「どちらかというと」を含め 56.9%)
- ・「 A . 皆と協力して進める方が好き 」か「 B . 自分一人で進める方が好き 」
「皆と協力して進める方が好き」の回答割合が約7割を占める(「どちらかというと」を含め 68.5%)
- ・「 A . 社交的 (外向き派) 」か「 B . 内向的 (内向き派) 」
「社交的 (外向き派) 」の方が、「内向的 (内向き派) 」よりも若干であるが回答割合が高い(「どちらかというと」を含め 56.3%)
- ・「 A . 皆と競争する方が燃える 」か「 B . 競争があっても気にしない、順位を付けられるのは嫌 」
「皆と競争する方が燃える」の回答割合が約6割を占める(「どちらかというと」を含め 60.7%)
- ・「 A . 失敗をおそれない 」か「 B . 慎重である 」
「慎重である」の回答割合が約7割を占める(「どちらかというと」を含め 70.9%)
- ・「 A . 自由度が高い方が好き 」か「 B . きちんと手順が決まっている方が好き 」
「自由度が高い方が好き」の回答割合が約6割を占める(「どちらかというと」を含め 62.6%)

物事を進めるときの “ 自己のタイプ ”



本調査に関するお問い合わせは、下記までお気軽にお寄せください。

株式会社 百五経済研究所 担当：川北、森里、松田、笠井

三重県津市丸之内 9-18 津丸の内ビル

T E L 059-228-9105

F A X 059-228-9380

U R L <http://www.hri105.co.jp/>